

## 特別支援教育に配慮した題材について

教科書では、学習指導要領解説「障害のある児童などへの指導」\*1で示された内容などに基づき、多様な児童が主体的に学習に取り組めるよう配慮した題材を設定しています。本資料では、特別支援教育・インクルーシブ教育の実践を検討する際ご参考いただけるように、個々の児童の困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫をしやすい題材について例示しました。

このほか、下記の特別支援教育に関する配慮について、詳しくは内容解説資料 p.34 をご覧ください。

- ・カラーユニバーサルデザイン
- ・学年に合わせた文字の大きさの配慮
- ・特別支援教育の専門家である大内進先生(国立特別支援教育総合研究所特任研究員)による校閲
- ・拡大教科書、学習者用デジタル教科書の制作

### \*1 「障害のある児童などへの指導」

・変化を見分けたり、微妙な違いを感じ取ったりすることが難しい場合は、造形的な特徴を理解し、技能を習得するように、児童の経験や実態を考慮して、特徴が分かりやすいものを例示したり、多様な材料や用具を用意したり、種類や数を絞ったりするなどの配慮をする。

・形や色などの特徴を捉えることや、自分のイメージをもつことが難しい場合は、形や色などに気付くことや自分のイメージをもつことのきっかけを得られるように、自分や友人の感じたことや考えたことを言葉にする場を設定するなどの配慮をする。

小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説図画工作編 第 4 章指導計画の作成と内容の取扱い 1(8) 引用

学年	頁	項目	題材名	内容
<p>● <b>変化を見分けたり、微妙な違いを感じ取ったりすることが難しい場合</b>  →特徴が分かりやすいものを例示したり、  多様な材料や用具を用意したり、種類や数を絞ったりするなどの配慮をしやすい題材</p>				
1・2上	18-19	立	ひもひも ねんど	油粘土のみを使用し、「ひも」の形を例示しているので、児童がひもの長さや太さ、ひもでできた形の違いなどを感じ取りながら活動しやすい。
1・2下	46-47	絵	ざいりょうから ひらめき	多様な材料を用意し、材料を鑑賞する時間を設定しているので、形や色、触感の違いを感じ取りながら活動しやすい。作品は、「手で触って見てみよう」などと投げかけることで触感の違いを味わいながら鑑賞することができる。
3・4上	16-17	立	切ってかき出しくっつけて	土粘土のみを使用し、切り糸やかきべらで形を変えるので、断面や穴、切ってできた形の違いを感じ取りながら活動しやすい。作品は触りながら鑑賞することができる。
3・4下	22-23	鑑	色合いひびき合い	絵の具のみを使用し、小さな紙の上で、指で絵の具を混ぜ、できた紙を並べて鑑賞するため、色の組み合わせや変化していく様子を感じ取りながら活動しやすい。
5・6上	40-41	絵	消してかく	コンテと消しゴムを使用し、画面を黒く塗りつぶし消すことを例示しているため、画面全体のバランスの変化や形の違いを感じ取りながら活動しやすい。
5・6下	40-41	立	水の流れるように	土粘土とガラスのみを使用しているため、粘土でできた形や触感などを感じ取りながら活動しやすい。作品は触って、土粘土の部分とガラスの部分の違いを感じ取りながら鑑賞することができる。視覚支援学校の児童作品を手で触って鑑賞する様子も掲載されている。
<p>● <b>形や色などの特徴を捉えることや、自分のイメージをもつことが難しい場合</b>  →自分や友人の感じたことや考えたことを言葉にする場を設定するなどの配慮をしやすい題材  ※例示した題材以外の多くの題材において、感じたことや考えたことを言葉にする場を設定することが可能です。  また、全ての題材ページで、児童の感じたことや考えたことを吹き出して示し、形や色などに気付くことや自分のイメージをもつことのきっかけを得られるよう配慮しています。</p>				
1・2上	46-47	絵	のって みたいないきたいな	導入で、「何に乗りたいか」「どこに行きたいか」について児童の考えを板書し、自分や友人のイメージや思いを共有する時間を設定することができる。
1・2下	12-13	立	にぎにぎ ねん土	導入で、教師が粘土をにぎってできた形をいろいろな方向から見せ、児童が感じた見立てのイメージを板書し、全体で共有する時間を設定することができる。
3・4上	18-19	絵	わたしの6月の絵	導入で、6月のイメージを言葉にし、外に出て6月を感じるものを探し、見付けたものを発表し合っ6月のイメージを広げる時間を設定することができる。
3・4下	16-17	絵	まぼろしの花	導入で、「まぼろしの花」は、いつ、どんなところに咲くのかについて児童の考えを板書し、「まぼろしの花」に対するイメージを共有する時間を設定することができる。
5・6上	26-27	絵	まだ見ぬ世界	選んだ写真から児童が感じたことや思ったことを板書し、全体で共有する時間を設定することができる。
5・6下	28-29	立	固まった形から	液体粘土で布を固めた形から児童が感じたことや思ったことを板書し、全体で共有する時間を設定することができる。
<p>● <b>自分の表したいことを見付けることが難しい場合</b>  →材料に触れたり、体の感覚を働かせたりして、実感の伴う活動を提案するなどの配慮をしやすい題材</p>				
1・2上	48-49	造	ならべて ならべて	身の回りにある材料を並べる活動を提案しているので、材料に触れながらその形や色に着目し、発想や構想をしやすい。
1・2下	32-33	造	つないで つるして	細い紙をつないだりつるしたりする活動を提案しているので、細い紙のつなぎ方を試しながら、発想や構想をしやすい。
3・4上	8-9	絵	絵のぐ+水+ふで =いいかんじ!	絵の具と水と筆でいろいろ試す活動を提案しているので、できた色や形に着目しながらイメージをもち、発想や構想をしやすい。
3・4下	38-39	造	光とかけから生まれる形	身近な材料に光を当ててかけをつくる活動を提案しているので、材料の組み合わせや光の当て方を試しながら、発想や構想をしやすい。
5・6上	30-31	立	立ち上がれ! ワイヤーアート	針金の形を変えながら立ち上げる活動を提案しているので、針金に触れながらその形に着目し、発想や構想をしやすい。
5・6下	10-11	絵	墨と水から広がる世界	墨と水でいろいろ試す活動を提案しているので、できた色や形に着目しながらイメージをもち、発想や構想をしやすい。
<p>● <b>作品などを鑑賞して、よさや美しさを感じ取ったり、自分の見方や感じ方を深めたりすることが難しい場合</b>  →見る視点を示したり、  感じ取ったことを言葉だけでなく身体を使って表現したりする活動を取り入れるなどの配慮をしやすい題材</p>				
1・2上	42-42	鑑	でこぼこ はっけん!	でこぼこを紙粘土で押し付けるなどの方法で集めるという視点を示しているため、身の回りにあるものの形の面白さを鑑賞しやすい。
3・4下	52-53	鑑	ポーズのひみつ	作品の登場人物のポーズをまねして、感じ取ったことを言葉だけでなく身体を使って表現する活動を取り入れているため、作品の場面や登場人物の感じていることについて考えながら鑑賞しやすい。
5・6上	28-29	鑑	水から発見 ここきれい!	きれいと感じる様子をカメラで撮影するという視点を示しているため、見る方向や角度を考えながら鑑賞しやすい。

※本資料は、特別支援教育において実践すべき題材を示すものではありません。また、例示した題材のみが特別支援教育に配慮されていることを示すものではありません。学習活動において生じる一人一人の児童の困難さに応じて指導内容や指導方法をご検討ください。